

労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	企業活動において、人種や国籍、性別、性的指向、性自認、出身、社会的身分、信条、宗教、障がい、身体的特徴などを理由とした差別や人権侵害を行っていない。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	労働安全衛生講習会を、職員、協力業者含めて年1回行っている。		3				8.8								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	従業員(正社員、準社員、アルバイト社員)の公正な待遇を行っている。					5.5	8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	有給休暇取得の推進、残業時間の管理徹底により、長時間残業の防止を徹底している		3			5.5	8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	教育訓練に関して、若手だけでなく、さまざまな技術やスキルの向上のため、教育研修機会を設けている。			4	5.5		8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	身体面の就業時の健康管理と健康診断制度を導入しているとともに、精神面の相談やカウンセリングを行う機会も設けており、常に健康状態を維持し、業務に取り組めるような待遇を行っている。		3				8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	外国人等多様な人材を採用し、アンケート調査をしたり、相談をする場を提供し、活躍できる環境整備を行なっている。			4.4	5.1 5.5		8.5	10.2 10.3							16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	新型コロナウイルス感染症対策として、WEB会議を取り入れたり、不要不急の外出防止を呼びかけている。		3				8	9.1	11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●							8	9.1	11	12					
	21	【ブライ企業】 ・ブライ企業に認定されている。	●			3	4			8	9		12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	環境汚染予防に関する研修会や環境汚染対策を説明する会議を行うとともに、対策を実践している。			3.9		6.3			11.6	12.4	14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、オフィスのLEDへの切り替えを行ない、節電に取り組んでいる。					7.3				13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社有車を順次ハイブリッド車に入替える事でCO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4			7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15	
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	環境に優しい取り組みを行うよう定例会議を開催している。周辺の悪影響を及ぼす可能性のある植物の撤去などを行っている。		m			6.6						14	15	
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	ゴミの分別を徹底して行い、再利用できるものは自社でリサイクルしたり、リサイクルできる業者へ渡したりするなどの工夫を行なっている。						9.4				12.2 12.4 12.5	14.1	15	
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	日頃から水の使いすぎに注意する貼り紙をしており、品質検査を行っている。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15	17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	消耗品や製品の購入の際は、環境に配慮した商品マークがあるものを購入し、日頃から環境に優しい製品を取り扱っている。						9.4				12.4 12.5	13	14	15
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2		6.4					12.3	14	15	17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●										11.6 11.7		13.1 13.3	15	17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●						7.1 7.2 7.3 7.a	9.4			11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13	15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	エコバックやマイボトルの使用の推奨、事務所へのエコバック備え付け等を実施している。										12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								9.4		11.2		13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●						7.1 7.2 7.3 7.a	9.4			11.6 11.a	12.8	13		17.2

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	建築業としてサービスの品質を確保するため、最新の機械や技術を取り入れ、製品の質を担保しながらサービスを提供する工夫をしている。	3.9							9		12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	障害者や高齢者の方でも利用しやすいよう、段差を少なくしたりスロープを配置するなどして、職場環境に配慮して環境整備を行なっている。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	熊本県産の原材料(八代産の木材等)を優先的に使用し、地産地消を推進している。	2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●						7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●																		17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●										8.2	9.2 9.4	11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	清掃ボランティアや地域のイベントなど様々な地域活動に積極的に参加し、地域の活性化に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	災害時の教訓を社員に徹底して指導しており、防災意識の向上を図るとともに、災害時の対応の訓練を定期的実施している。				4						11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5			3	4					10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	【予定】2022年1月までに社内でSDGsの研修会を開催し、年2回を目標に定期的実施する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	年1回高校施設に於いて舗装工事の施工体験も行っている。(令和3年11月2日実施)				4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	建設業協会及び舗装協会と合同で、八代市内の高校に出向き八代市内建設業の企業説明会を行い、地元の学生を積極的に雇用している。					4.4				8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15	17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。